

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

| | | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|-------------------------------|
| (1) 取組名 | 空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト調査 | | |
| (2) 実施団体名 | 大井川観光連絡会 | (3) 対象地域 | 静岡県榛原郡川根本町及び島田市の一部(旧川根町・旧金谷町) |
| (4) 代表団体名 | 静岡県川根本町 | (5) 推薦団体名 | — |

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|---|--|
| (6)実施した取組の内容 | 取組① | 韓国・中国向け情報発信ツールの整備と留学生等による情報発信 | | |
| | 実施主体 | 川根本町 | | |
| | 実施内容、 実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 | |
| | | 1. 韓国・中国向け観光PRツール作成(9～10月) 2. 留学生等をPR大使として育成、委嘱し、韓国・中国への情報発信(12～1月) | 1. PRツール(韓国・中国語版のガイドブック、ビデオ、HP)作成(9～1月) 2. 川根本町及び島田市において韓国人及び中国人留学生を招いてモニターツアーを実施(10～11月)し、留学生25名を観光大使として委嘱(12月)、帰省地等においてPRツールを活用した情報発信、アンケートを実施(1～2月) | |
| | 取組の目的 奥大井地域の韓国及び中国における認知度の向上 | (補足) 韓国・中国向けのガイドブック等の作成にあたり、韓国人及び中国人留学生や大学教員等から奥大井地域の魅力や受入れる際の留意点等を聴取して、より注目されるPRツールとなるように努めた。 留学生に帰省先の親族や友人等により具体的に紹介してもらうため、モニターツアーで実際に体験してもらうことで、奥大井地域に対する理解と愛着が深まり、観光大使として精力的に活動してくれた。 また、モニターツアーの際に行ったワークショップにおいて、韓国人、中国人の嗜好、留意事項、提案・改善点等の意見を集約し、取組②の観光商品づくりや受入態勢の整備に反映した。 | | |
| | 取組② | 韓国向け観光商品の販売可能性調査とツアーガイド、ボランティア等の育成 | | |
| 実施主体 | 川根本町 | | | |
| 実施内容、 実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 | | |
| | 1. 外国人受入に対する観光施設等の意向調査、先進地実態調査(9～10月) 2. 韓国向け観光商品の企画(10～1月) 3. 韓国旅行会社等を招聘したファムトリップ実施(12月上旬) 4. 韓国語対応ツアーガイド等の育成(10～12月) 5. 奥大井ガイドマニュアル作成(12月) | 1. 外国人受入に対する観光施設等の意向調査、先進地実態調査を実施(10～12月) 2・3. 地域資源を生かした料理、旅行商品を検討し、韓国旅行会社7社を対象としてファムトリップ、アンケート実施(10～1月) 4. 5. 受け入れ体制の意識啓発を図るため、奥大井地域の3箇所でおもてなし講座を開催するとともに、おもてなしマニュアル(基礎編)作成(12～2月) | | |
| 取組の目的 奥大井地域の韓国及び中国における認知度の向上 | (補足) 観光施設等に対する外国人観光客受入に関する意向調査では、各施設で外国人の利用実績はあるものの外国語を話せる従業員がいる、外国語の案内表示が整備されていると回答した施設は全体の1割程度であった。しかし、多数の施設が今後外国人観光客受入に関する各種講座の機会があれば参加すると回答しており、外国人観光客受入に対する意欲が示された。 先進地への外国人観光客受入実態調査では、おもてなしの姿勢が大切であるとの認識を得た。この結果を受けて、当初計画のツアーガイド育成、ガイドマニュアル作成を、おもてなし講座開催、おもてなしマニュアル(基礎編)作成に変更し、地域住民の意識啓発を図った。 旅行商品企画のモデルコースや奥大井の素材を使った食事の開発では、専門家や韓国人等に助言や試食してもらい、効果的な商品開発ができ、これらを活用したファムトリップにおいて韓国旅行会社から高評価を得ることができた。 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 取組③ | 「地域まるごと博物館」形成可能性調査 | |
| 実施主体 | 川根本町 | |
| 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 |
| | <p>1. まちかど博物館となり得る地域資源の調査、住民アンケートの実施、意識啓発フォーラム開催(9～11月)</p> <p>2. 観光商品化に向けた検討(12～2月)</p> <p>3. まちかど博物館設置調査委員会</p> <p>取組の目的 観光地づくり(「地域まるごと博物館」形成)への地域(住民等)参加の促進</p> | <p>1・3. まちかど博物館設置調査委員会設置(10月)、委員会による博物館候補施設現地調査実施(10～12月)、地域住民の意識啓発フォーラム(参加者200名)を開催しフォーラム後には住民の意向や施設に関するアンケート実施(2月)</p> <p>2. まちかど博物館として50施設を選定(12～1月)</p> <p>(補足) 「地域まるごと博物館」を構成する「まちかど博物館」の候補選定については、「展示物等の所有者・管理者が館長として展示や歴史・文化などについての話ができる」、「魅力ある地域資源の展示等を行っている」施設を中心にいき、更にその中で「継続的運営可能」等の観点から、陶芸工房、紙漉き体験施設、茶工場等を選び、現地視察を行い、観光商品化を念頭にまちかど博物館候補施設を選定した。</p> |
| (7)実施体制 | 平成20年度の取組実施における体制・役割分担 | 取組の実施を踏まえた反省点 |
| | <p>・大井川観光連絡会 本事業の提案者で、島田市、川根本町の各行政機関、商工会、観光協会と大井川鉄道(株)を構成員として、市町の枠を越えて一体的に取り組んでいる組織。</p> <p>・奥大井地域の元気再生プロジェクト推進会議 大井川観光連絡会に学識者等を加えた組織で、事業全体の管理を行うとともに、取組①、②を担当。</p> <p>・まちかど博物館設置調査委員会 学識者や地域資源に精通した専門家等を構成員とした組織で、取組③を担当。</p> | <p>役割分担を明確にするとともに、実施した取組み内容をその都度検証、見直しを行い次へのステップへ移行させるように努めた。</p> <p>留学生を観光大使に育成する事業では静岡県立大学と静岡産業大学、外国人観光客受入態勢の充実を図るためのおもてなし講座では静岡県の協力受けるなど、地域の住民や行政だけでなく、静岡県内の大学、行政、観光協会などとも連携して幅広い関係者の知見を生かし、協働により効果的にプロジェクトの推進ができた。</p> <p>プロジェクト推進会議においては、各取組について地域の現状にあった適切なアドバイスにより実践的な取組が可能となった。</p> |
| (8)取組により得られた成果 | ○成果1→ | <p>奥大井地域の韓国及び中国における認知度の向上</p> <p>韓国及び中国の利用度の高いインターネット検索サイトにおける「奥大井」のヒット件数</p> |
| | H19 | H20(当初予定していた目標) |
| | ・韓国約10件 ・中国約350件 | <p>・韓国50件 ・中国500件</p> <p>・開設した韓国・中国向けHPアクセス1,000件</p> |
| | H20(実際に得られた成果) | |
| | <p>取組①、②の成果として、韓国・中国における奥大井の認知度も高まりつつあり、目標については、達成する見込み。この取組で奥大井地域における美しい自然景観、SL、温泉、お茶、地元食材による料理、個性ある伝統文化などの地域資源が観光商品の素材として魅力があることが改めて確認できたことで地域が自信を持つことができた。また、本事業において行ったファムトリップにおいて、韓国旅行会社から観光商品として高評価を得ることができ販売可能性が高まったことで、商品化に向けた取組に勢いがついた。</p> | |
| | ○成果2→ | <p>地域づくり(「地域まるごと博物館郷」形成)への地域住民等参加の促進</p> |
| H19 | H20(当初予定していた目標) | |
| 観光客が訪れる民家、工場等 10箇所 | <p>まちかど博物館(古民家や茶工場等を活用した集客施設)の候補施設 50箇所</p> | |
| H20(実際に得られた成果) | | |
| <p>取組③の成果として、これまで観光資源として未利用だった施設も含めて50箇所のまちかど博物館候補施設を選定した。</p> <p>地域まるごと博物館の取組では、地域全体として取り組む気運が高まり、これに合わせて奥大井地域が元気を取り戻しつつある。2月開催の意識啓発フォーラムでは更なる盛り上がり期待されるとともに、フォーラム後の住民アンケートにより新たなアイデアや候補施設の発掘も期待される。</p> | | |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p> | <p>奥大井地域の韓国及び中国における認知度が高まりつつあり、旅行商品の販売可能性も高まったが、今年度実施したファミトリップにおいて、奥大井の地域資源を結ぶコースづくりやその移動手段、富士山静岡空港からのアクセス等の課題が抽出されたことから、これらをクリアして観光商品化していく取組が必要と考えられる。また、今年度のおもてなしに関する取組で奥大井地域の外国人受入に対する基礎的理解は高まったが、今後は実践段階の取組が必要と考えられる。</p> <p>まちかど博物館候補施設は50施設を選定し、各施設の管理者の理解は得られたが、これらの施設を博物郷としていくための取組と長期的、安定的に運営するためのしくみづくりが必要と考えられる。</p> | |
| <p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p> | <p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>■空港の整備を生かした東アジアからの誘客対策、観光地づくり (平成21年度) ○観光商品のバリエーション化に向けた旅行会社との調整 ○モデルツアーによる社会実験を実施し、評価・検証 ○本格導入に向けた商品化の調整(ルート編成、価格等) ○地域住民と留学生等との協働による地域ぐるみのもてなし体制の整備(集落単位での組織の編成、研修会の開催)</p> <p>(平成22年度) ○ 韓国国内での観光商品販売 ○ 中国からの団体旅行の商品化の検討</p> <p>■エコミュージアムの考え方を取り入れた「地域まるごと博物郷」の形成 (平成21年度) ○まちかど博物館設置に向けた取組方針の決定 ○実証実験 ガイドの育成、施設のオーナー等の登録、研修、旅行者、宿泊業者との調整・実証実験 モデルツアー、アンケート調査、課題確認など ○PR手法の検討とツールの作成等 ロゴ等の募集、募集を通して全国へ情報発信開始、ガイドマップ、関係資料等の作成 ○調査委員会による進行管理、評価</p> <p>(平成22年度) ○まちかど博物館の開館 ○ツアー商品化への調整、マイカー利用者向け情報発信</p> | <p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>■富士山静岡空港の開港を生かした東アジアからの誘客対策 (平成21年度) ○観光商品化に向けた具体的取組 テーマ別ツアーコース、移動手段等の検討、実証実験 ○外国人観光客受け入れ体制の充実 ツアーガイド育成等実践的な研修実施、ガイドマニュアル作成 ○ 韓国内における観光商品販売に向けた取組 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額800万円)]</p> <p>(平成22年度) ○ 中国からの団体旅行の商品化の検討</p> <p>■「地域まるごと博物郷」の形成 (平成21年度) ○まちかど博物館商品化に向けた取組 開館に向けた準備、PR方法検討、モデルルートの作成、モデルツアーの実施等 ○施設のオーナー等の研修、ガイド育成 ○地域住民を主体とした運営組織の検討、設置 ○まちかど博物館開館 35館開館、開館記念事業を開催 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額900万円)]</p> <p>(平成22年度) ○まちかど博物郷(50館)の形成 ○ツアー商品化への調整、マイカー利用者向け情報発信</p> |

空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト調査

(静岡県川根本町、島田市の一部(旧川根町、旧金谷町))

—大井川観光連絡会—

◆主な実施取組の内容◆

奥大井の韓国・中国における認知度向上に向けた取組

取組①:韓国・中国向け情報発信ツールの整備と留学生による情報発信

【実施内容・結果】

- ・PRツール(韓国・中国語版ガイドブック、ビデオ、HP)作成
- ・韓国・中国人留学生を対象に現地研修を行い、観光大使に委嘱し、帰省地等での情報発信、アンケート実施
- ※PRツールや観光大使による効果的な情報発信により、奥大井の認知度向上



【韓国人・中国人留学生モニターツアー】



【留学生のワークショップ】

【観光大使委嘱状・PRツール】

取組②:韓国向け観光商品の販売可能性調査

【実施内容・結果】

- ・韓国向け観光商品の検討
- ・韓国旅行会社を招聘したファミトリップ実施
- ・おもてなし講座の開催、おもてなしマニュアルの作成
- ※韓国旅行会社から観光商品の高評価を得ることができたことで販売可能性が高まる



【ファミトリップの様子】

【韓国旅行会社との商談会】



【韓国向け料理の検討】

【おもてなし講座の様子】

地域づくりへの住民参加促進に向けた取組

取組③:「地域まるごと博物館」形成可能性調査

【実施内容・結果】

- ・まちかど博物館候補施設の調査、選定
- ・住民を対象とした意識啓発フォーラム開催
- ・まちかど博物館に関する住民アンケート実施
- ※まちかど博物館候として50施設を選定、地域全体で取り組む気運が高まる



【調査委員による博物館候補施設の現地調査】



【調査委員会の様子】

【フォーラム開催のチラシ】

◆取組実施による成果・今後の展開◆

□本事業において作成したPRツール、観光大使による情報発信、地域資源を生かした観光商品づくりとその販売可能性調査により、奥大井の認知度は向上した。

韓国旅行会社を招聘したファミトリップにおいては、高評価を得ることができ、商品化にむけた取組に勢いがついた。

□地域まるごと博物館形成可能性調査では、候補施設数が目標の50施設に達するとともに地域全体で取り組む気運が高まっている。

□今後は、韓国・中国向け観光商品造成に向けた取組や外国人観光客受け入れ態勢の充実を更に進めるとともに、地域まるごと博物館を観光商品としてH21年度中に35施設の開館を目標として取組を行う。